

メーカー・ベンダー・金融機関関連会社社員のための

第 97 回銀行業務研修・基礎 第 14 回本部業務コース

銀行の本部が担当する業務を学び、金融機関に信頼される社員を養成します

対象者は、

- ★ 金融機関担当になる(なった)社員の方
- ★ 金融機関担当社員の方
- ★ これから金融機関営業に取り組もうとしている社員の方
- ★ 銀行の本部が中心になって推進する業務を改めて学習したい社員の方
- ★ 金融機関入社後、営業・事務部門を経ずシステム部門に直接配属された方
- ★ 金融機関をめぐる最近の規制の動きを知りたい方

金融機関の本部が担当する業務の内容を豊富かつ最新の事例紹介とともに学習するメガバンクOBによる短期特別集中講座です。

開催日：2018年2月15日(木)～16日(金) (1.5日間)

会場：第2ニッキンホール(東京・市ヶ谷)

講師：富士通株式会社 金融ソリューション事業本部

PROBANK 担当アドバイザー

兼 富士通エフ・オー・エム専任部長 齋藤和男氏

主催：CMC

Computer Based Management College

<http://www.nikkin.co.jp/cmc/>

* 上記サイトからWebでの申し込みが出来ます

後援：一般社団法人全国地方銀行協会

一般社団法人第二地方銀行協会

一般社団法人全国信用金庫協会

一般社団法人全国信用組合中央協会

研修の対象

- ・ 金融機関を営業対象とする企業の社員、新たに金融機関を担当される社員、銀行の本部が担当する業務を改めて学習したいと思われる営業マン・企画担当やシステム開発担当の方々。
- ・ 金融機関関連会社の社員の方々。
- ・ 金融機関の営業店事務や業務部門を経由せず直接金融機関のシステム部門やシステム関連会社に配属された方。
- ・ 金融機関を取り巻く最近の環境変化や規制の動きを知りたい方。

研修のねらい

- ・ これから金融機関を担当し、本部各部の銀行員と折衝するのに必要となる業務あるいは用語を理解し、金融機関に信頼される活動に結びつけることをねらいとします。

研修のテーマ

- ・ 金融機関を営業対象とする企業にとって、接触する相手は殆ど本部の職員です。銀行の本部にはどのような組織があるのか、その本部各部が担当する業務は何か、所管しているシステムは何か、銀行を取り巻く環境、経営課題に対し本部各部はどう立ち向かっているのかなど、金融機関の本部の担当者と接していく上で必要と思われる「本部」の役割について学んでいただきます。
- ・ 新しい規制の方向など、最新の経営戦略について経営企画部門の担当業務の中で紹介します。金融機関のシステム戦略はどのように立案され、実施されるのか現在のシステム投資動向なども詳しく説明します。
- ・ 市販の本や教科書などではなかなか勉強できない業務ノウハウをエピソードや裏話を交えて学習します。

開催要綱

開催日：2018年2月15日（木）～16日（金） 1. 5日間

時 間：1日目 13:30～16:30

2日目 9:30～16:00

講 師：齋藤 和男氏

- ・ 富士通株式会社 金融ソリューショングループ事業本部 PROBANK担当 アドバイザー兼富士通エフ・オー・エム専任部長。旧第一勧銀（現みずほフィナンシャルグループ）にて、さまざまな業務を担当。本店営業部・国際部・人事部を経て事務部・システム部等で勘定系・情報系システム開発に従事、その間、通産省（現経済産業省）出向。その後本店にて、融資・企画・検査・管理・総務、また支店長、システム部長を経て、2000年富士通に入社。

会 場：第2ニッキンホール（東京・市ヶ谷） ※ お申込み後、受講票・案内地図などをお送りいたします。

受講料：A：52,920円（本体価格49,000円）

（金融機関機械化研究会および金融ニュービジネス&テクノロジー研究会の会員機関様価格）

B：55,080円（本体価格51,000円）

（後援協会加盟機関様価格）

C：59,400円（本体価格55,000円）

定 員：25人（最少実施人員12人）

◆ 参考文献：「金融時事用語集」（2018年版） 1,500円+消費税

金融時事用語集は、最近のキーワードとなる金融時事用語約200項目を厳選し、金融・証券・保険各界のエキスパートが時事的な観点から、用語の背景から直近のデータを使って平易・簡潔・具体的をモットーに解説したものです。日本の金融のバックグラウンドを知るうえで参考になります。

発行元 金融ジャーナル社 電 話：03-3261-8826

FAX：03-3261-8839

<http://www.nikkin.co.jp/journal> から購入できます。

【銀行業務研修・第14回本部業務コース スケジュール】

第1日目 2月15日(木)13:30~16:30

第2日目 2月16日(金) 9:30~16:00

(※)2日目のみ昼食は、当方が用意します

<p>はじめに 研修の狙いとその概要</p> <p>1. 研修の狙いとその概要</p> <p>第1章 銀行業とは</p> <p>1. 銀行法による定義</p> <p>2. 金融持株会社</p> <p>3. 本部とは</p> <p>4. 本部組織</p> <p>5. 取締役会・経営会議・監査役等</p> <p>第2章 経営管理</p> <p>1. 経営計画・事例</p> <p>2. 財務・主計</p> <p>3. 関係会社</p> <p>4. 広報・IR</p> <p>5. 当局窓口</p> <p>6. 店舗</p> <p>第3章 システム戦略</p> <p>1. 金融機関IT法制をめぐる動向</p> <p>2. 銀行経営におけるIT</p> <p>3. IT戦略</p> <p>4. 最近のテクノロジー</p> <p>第4章 リスク管理</p> <p>1. リスク管理とは</p> <p>2. リスクの種類</p> <p>3. 統合リスク管理</p> <p>4. BIS規制</p>	<p>第5章 リテールバンキング</p> <p>1. リテールバンキングとは 2. 個人戦略</p> <p>3. 中小企業戦略 4. プライベートバンキング</p> <p>第6章 ホールセールバンキング</p> <p>1. 変化する大企業取引 2. 投資銀行業務</p> <p>3. ファイナンスの手法</p> <p>第7章 審査・融資管理</p> <p>1. 審査業務 2. 融資管理</p> <p>3. 信用格付・自己査定 4. 不良債権処理</p> <p>第8章 調査・コンサルタント業務</p> <p>1. 経済調査 2. 産業調査・企業調査</p> <p>3. コンサルタント・情報経営</p> <p>第9章 市場取引・証券業務</p> <p>1. 市場取引とは 2. 金融市場取引</p> <p>3. 為替取引 4. 金融派生商品(デリバティブ)</p> <p>5. 銀行の証券業務</p> <p>第10章 国際業務</p> <p>1. 国際部門組織と機能 2. 最近の動向</p> <p>第11章 人事部門</p> <p>1. 人事企画 2. 採用・運用 3. 教育</p> <p>第12章 事務部門</p> <p>1. 事務管理 2. 事務センター業務</p> <p>第13章 コンプライアンス</p> <p>1. 法務部門 2. 株主総会 3. 利益相反</p> <p>4. 反社対応・AML 5. 高齢者対応</p> <p>第14章 内部監査・外部監査</p> <p>1. 内部監査 2. 外部監査</p>
---	---

最近の受講企業 (順不同、敬称略、一部略称使用、一部旧社名)

アイエックスナレッジ、群馬銀行、TIS、日本CA、九州地区農協オンラインセンター、NTTデータ北陸、システムテクノロジーアイ、日立製作所、NTTデータ、第四銀行、NTTデータ東海、朝日信用金庫、日本IBM共同ソリューションサービス、住商情報システム、JSOL、NTTデータフロンティア、NECネットアイ、日本電気、NTTデータ中国、日本IBM、三菱電機インフォメーションシステムズ、電通国際情報サービス、シスコシステムズ、シーエーシー、農林中金、NTTデータシステム技術、アイ・ティー・フォー、トランソニックシステムズ、富士通YFC、日本オラクル、テクマトリックス、ゆうちょ銀行、しんきん情報システムセンター、富士通、信金情報システムセンター事業組合、NECソフト、伊藤忠テクノソリューションズ、日本オラクル、アイエヌ情報センター、日本アイビーエム・ソリューション・サービス、CSKシステムズ、八十二銀行、新日鉄ソリューションズ、トーマツ、日本ユニシス、日立オムロンターミナルソリューションズ、インテック、TDCソフトエンジニアリング、N&J金融ソリューションズ、シーエーシー、みずほ情報総研、西日本電信電話、日立中国ソリューションズ、NTTデータ関西、NTTデータジェトロニクス、DTS、三菱東京UFJインフォメーションテクノロジー、その他多数企業

088

メーカー・ベンダー・金融機関関連会社社員のための
 第97回銀行業務研修・基礎
 第14回本部業務コース

ホームページ用受講申込書<2018年2月15日(木)~16日(金)開講>

貴社名

所在地 〒

連絡責任者

部署・役職

TEL

FAX

参加者氏名	所属(部・課・グループ)	役職

お申し込みいただきました方には、受講証・請求書・会場地図をFAX致します。

受講料 A: 52,920円(本体価格 49,000円)

(CMC金融機関機械化研究会会員機関および金融ニュービジネス&テクノロジー研究会会員機関)

B: 55,080円(本体価格 51,000円) (後援団体会員機関)

C: 59,400円(本体価格 55,000円) (上記A,B以外の皆さま)

【問合先】 CMC: TEL 03-3261-4550 FAX 03-3261-4570 まで。

注: (振込先銀行) みずほ銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1797042
 三菱東京UFJ銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1279478
 りそな銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1627070

(名義) 株式会社 CMC 振込予定日(できるだけご記入ください) 月 日

- 受講についてのお願い -

- ・受講料は、できるだけセミナー開催日までに振り込み下さい。
- ・銀行振込の場合は領収書を発行いたしません。
- ・銀行振込に際しては、可能であれば貴社名の前に請求番号の下3桁(枝番数)を付してください。振込手数料は、貴機関でご負担をお願い申し上げます。
- ・開催日前、1週間以内のキャンセルはできません。
- ・講演時の録音・撮影および携帯電話・パソコンの利用はご遠慮ください。
- ・諸般の事情により開催を中止させていただく場合があります。